

越冬支援活動内容

キリスト教釜ヶ崎越冬委員会

私たち、キリスト教釜ヶ崎越冬委員会の、今越冬に対する取り組み内容がほぼ決まりましたので、ここに報告します。今越冬では、それぞれの分野で、多くの手足を必要とします。今月24日からの皆様方のご協力を要請する次第です。よろしくお願ひします。

1. 夜間医療パトロール 月、水、金曜日(キ越冬委支援分担)
喜望の家集合午後9時半、出発午後10時、所要時間1時間半、もちろん、夜間パトは毎日行ないますので、この曜日以外に参加したい人は、直接解放会館の越冬奥へ行って下さい。
2. 医療相談 月、水、金曜日の午前9時~11時
相談を受付、医療券を発行し、社会医療センターへ付き添い、さらには、市更相の保護諾否決定がおりるまで付き合います。このように一日仕事になりますが、人手も必要とします。
3. 夜間パトのケア 火、木、土曜日のなるべく早朝から、前日のパトロールで見つけた人のケアです。
4. 病院訪問 一応火、木、土、日曜日としますが、必要に応じて他の曜日に行ったり、取りやめたりすることがあります。
5. 衣類整理 カンパ物資の整理ですので、多人数が必要で、団体、帰入会の方々にもぜひご協力をお願いします。

他に、毎日3食の炊き出しへの手伝い、連絡、事務にも入手が必要で、(ご不明な点は、キ越冬委の福田まで、TEL. 647-3946)

1979.12.16

活動日と責任者

	月	水	金
医療相談	重野信え	Sr.石戸	小柳伸顕
夜間医療パトロール	前島京甫	俵尾美喜夫	S/イングリッド

*これはあくまで責任者個人の表であって、各団体が負うものではありません。決して、団体にとらわれることなく、時間の許す限りの参加をお願いします。

*左3の「夜間パトのケア」は当分の間、責任者を決めずに必要に応じて行ないます。昨年のように、早朝に出かけねばならない時が必ずあると思いますが、その時には皆様方のご協力をよろしくお願ひします。

*左4の「病院訪問」も回数を多くしますので、多くの方々の参加をお願いします。

*カンパ物資の衣類等が、喜望の家集会所を占領し、ご迷惑をおかけしております。至急衣類整理が必要で、よろしく!

*毎日3食の炊き出しも人手不足のようです。

以上、皆様方のご協力を要請する次第です。よろしく!

キリスト教釜ヶ崎越冬委員会

越冬活動について

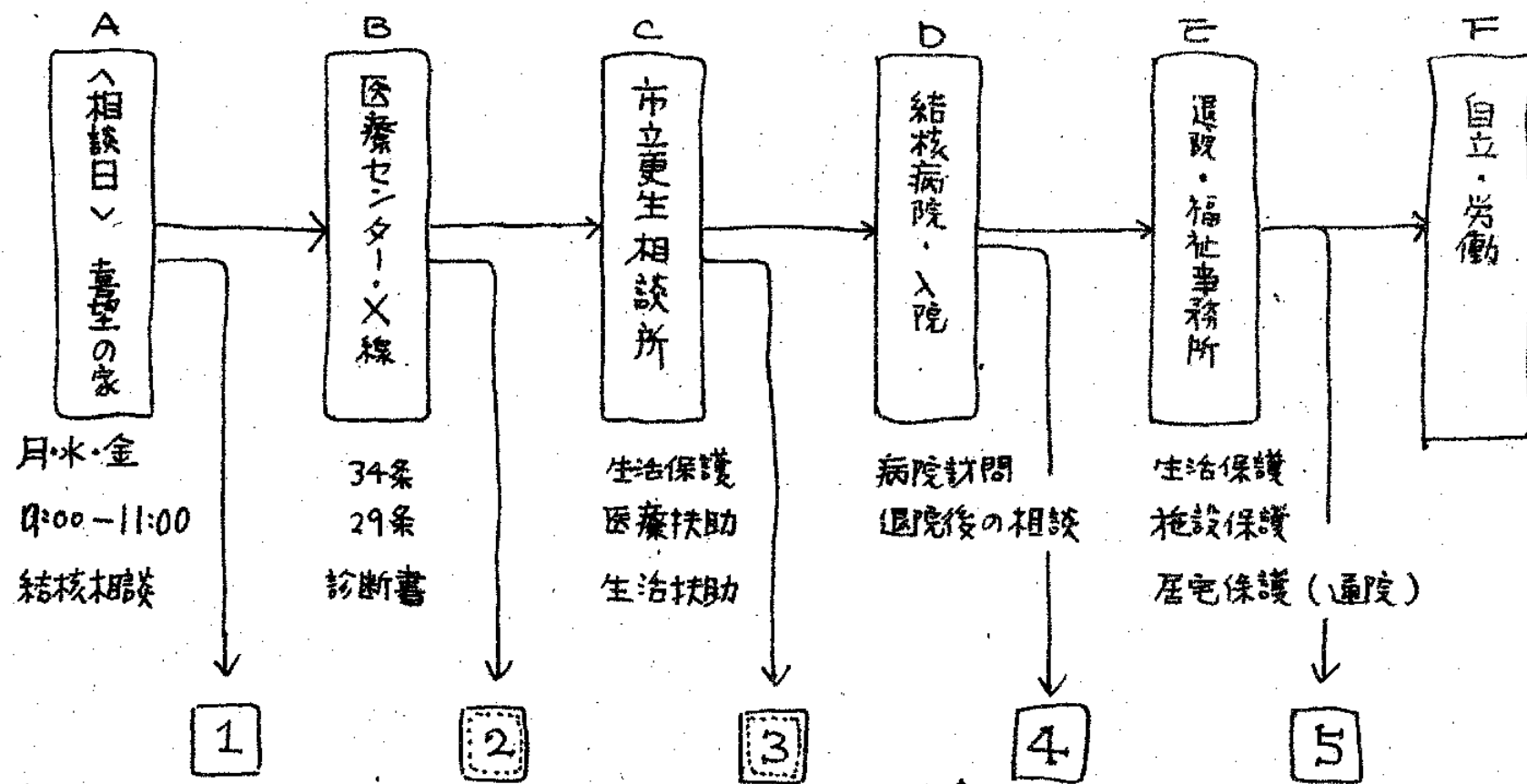
1979. 12. 15

* 医療センターの診療時間

昼 9:00~12:00 (月~土)
夜 5:30 受付 6:00-7:30 (月・水・金)

* 保健所分室 (更生相談所内)

金曜日・午後(1時) 結核相談 (山口医師・羽曳野病院)



● 月・水・金

夜間パート 10:00~

● 火・木・土 巡回相談

→ 保健所への通告 (結核予防法)

キリスト教釜ヶ崎越冬委員会の動き 1979.12.16 No. _____

年 月 日

1979	9	2	日	協友会例会 キ越冬委の委員を募出 — 金井 重野谷 S 谷 福田 — KUIIMへは小柳 前島 他18を要請
	10	6	土	※1回越冬委 代表-金井 会計-谷 専任-福田 とし A越冬のテーマを「釜ヶ崎の病状」とする
		7	日	協友会例会 「愛隣地区の福祉対策の今後の進め方に関する答申」について話し合う
		24	水	※2回越冬委 越冬委員に KUIIMから小柳 前島の他 李清一氏(KCG)が決定 越冬支援カンパ呼びかけピロウの文章作成 会計予算案成立
	11	6	火	※3回越冬委 越冬委を毎土曜7PMに行なうと決定 行政への要望活動を検討 活動内容特に夜間医療パトロールについて再考
		7	水	大島 靖 新宮良正 西大阪市長候補に公開質問状 関係資料を送る 大島氏からは13日に 新宮氏からは16日にそれぞれ返答あり
		11	日	協友会例会 「大藪氏を囲んで」先の答申について 疑問点を出しあて話し合う
		12	月	越冬支援カンパ呼びかけピロウ 発送作業 11月27日全発送完了 総数3160通
		17	土	※4回越冬委 釜ヶ崎の越冬取り組みについて聞き 越冬セミナーについて話し合う
		20	火	越冬セミナー委員会 頼一(小柳) 山ノ上 重野 妹尾 福田一、テーマ「釜ヶ崎の医療問題」
		24	土	※5回越冬委 越冬セミナー 行政への要望活動 越冬委の活動内容について話し合う
	28-30	水-金		※10回釜ヶ崎越冬戦争実行委員会結成会議 ※1回支援連絡会議 於釜ヶ崎解放会館
	12	1	土	※6回越冬委 面成の提出申請書訪問 病院訪問を計画し 越冬委の活動内容を討論す
	6-10	水-月		面成の提出の申請書 上田 二郎 柳本 卓也 内村 作二 田方 葉三郎 を訪問
		8	土	※7回越冬委 活動内容を決定 — 月水金の医療相談と夜間パトロール 病院訪問等
		11	火	越冬セミナー委員会 7PM~ 於喜
		12		
		13		SCM現場研修 ※1回委員会 4PM~ 於喜 「越冬戦争支援準備会 6PM~ 部落解放センター 大津
		14		大阪市民生局 面成福祉事務所 面成消防署 市立更生相談所 保健所分室 を訪問
		15		※8回越冬委 7PM~ 於喜 活動の担当者を決定
		16	日	協友会クリスマス(含 越冬決起全体集会) 4PM~ 於ふるさとの家
		17		
		18		阪奈病院訪問 9AM~ 南海地区婦人会 越冬衣類整理
		19		
		20		越冬への衣類カンパの整理日 10PM~ 於喜
		21		
		22		※9回越冬委 7PM~ 於喜
		23	日	
		24		◎越冬支援活動開始(3月末日まで) 越冬戦争総決起集会 6PM~ 於三角公園
		25		越冬戦争実行委員会 越冬戦争突入 希望の夜待楽堂クリスマス「労働者とともに」
		26		白井 野上 広崎病院訪問
		27		京都YWCAから数名 越冬活動に参加
		28		聖隷学園高校(浜松)のセミナー 於喜
		29		※10回越冬委 7PM~ 於喜
		30	日	大阪市臨時無料宿泊所の受付 於市更相
		31		希望の夜待楽堂 深夜まで開放(越冬委協力)
1980	1	1		※5回
		2		越冬セミナー(この夜 夜待楽堂オ-タン) 公開講演会「労働者」と結核 7PM~ 於喜1F
		3		もちつき大会 9AM~ 於三角公園
		4		U-7L教会牧師の釜ヶ崎セミナー 於喜 越冬東 大阪市への抗議行動
		5		※11回越冬委 7PM~ 於喜

1979年度 第5回 釜ヶ崎越冬セミナー だより

越冬セミナー委員会発行
1979.12.13.

去る12月10日の越冬セミナー委員会でスロプログラムが下記の通りまりましたのでお知らせいたします。

- ・テーマ「釜ヶ崎の医療問題」
- ・日時 1980年1月1日(火)午後2時(集合・受付)～1月3日(木)午後2時解散
- ・会場 希望の家 大阪市西成区菟ノ茶屋2-8-18 Tel.06-647-3946
道頓堀・国鉄環状線・新今宮駅下車・地下鉄 御堂筋線 動物園前下車徒歩5分
詳しくは、同封の地図参照のこと。

・スロプログラム

	午前	午後 (a)	午後 (b)	夜間
1月1日(火)		2:00 受付 オリエンテーション 夕食 (小柳)	7:30 ① 釜ヶ崎医療の現状 (ハインリッヒ) 現場からの報告	9:30 ② パトロール オリエンテーション 10:00 パトロール
1月2日(水)	9:00 医療相談③ (越冬委担当者)	1:00～4:00 ④ 医療センターへ 病院訪問 (産野) 4:00～5:30 奥僚清と囲んで⑤ (好尾)	7:00 公開講演会⑥ 「日雇労働者と結核」 ～山谷から 今村西呼	10:00 パトロール
1月3日(木)	9:00～10:30 ⑦ 衣類整理(作業) 10:30～12:30 ⑧ まとめの討論(福田)	1:00 全員で会食・解散 於 希望の家		

- ① 釜ヶ崎の医療の現状について 地域研と現場(医療センターまたはアルコール問題について発題)
- ② パトロール上の諸注意をきき10時から労働者と合同で
- ③～④ 越冬活動の実際に参加 越冬委員会が活動については手助けしてくれる。近隣の病院(結核)もたずねる。
- ⑤ 今越冬の主題である「日雇労働者の結核」について、東京・山谷でここ数年経験されてきたことを1時間半ほど今村先生(結核予防会・渋谷診療所長・都立城北センター嘱託医(結核))からきき、のち討論
- 地域の労働者、越冬活動に参加する人に広く公開。
- ⑥ 奥僚清と囲んで— 奥僚清さんは、フィリピンのスラム等で 針などの治療活動の経験のある方で、その経験を聞く(参照「フィリピン貧民物語」奥僚清 雑誌『世界から』No.2)。
- ⑦ 越冬のために希望の家によせられた衣類をまごつかえるように整理します。
- ⑧ 3日間の経験と感想について話し合う。

・感想文 — 帰宅されるまでに、3日間の感想、あるいは越冬活動についての提案などと800字～1000字程なまでにまとめてもらいます。

・会費 1月1日 当日の受付にてお支払い下さい。2,000円
 また、万が一 出席できなくなった場合は、必ず 委員会まで事前に連絡してく
ださい。

・食事 各自 外で自由にとることができます。

・持参品 洗面具、作業ができる服装、夜間(10:00~12:00)のパトロールの寒さを防ぐこ
 とのできる服装(オーバー、ジャンパー、靴、靴下など)。
 聖書、賛美歌、筆記具など。

・参考書 (1) 宮下忠子「山谷・泪橋」(晩声社)

宮下さんは、城北センターでケースワーカーとして働いておられる。山谷の
 労働者の生活体験ときまがきしたもの。

(2) 渡部幸子「寿・保健婦日記」(NHKブックス)

渡部さんは、横浜市の寿町担当の保健婦さんです。寿町の日雇労働者の結核に
 精力的にとりくんでこられました。

(3) 小柳伸顕「教育以前」(田畑書店)

釜ヶ崎の不就学児との取り組みの記録。

(4) 本田良寛「にっぽん釜ヶ崎診療所」(朝日新聞社)

社会医療センター附属院長の著者が、なぜ、釜ヶ崎で診療活動に参加するよう
 になったか、著者の自伝とからませて語られている。医療の実態調査のレポー
 トもある。

・お問合せ

希望の家 越冬委員会(福田まど)

Tel. 06-647-3946

